



いっぴき

Sample

きょうりゅう

sample

ティラノサウルスのブラウンは いちばん つよい きょうりゅうです。
ブラウンは ちいさなころから じぶんで かりをして えものをつかまえて 生きていました。
ちからもつよく たたかいで まけたことはありません。
ひとりでも こまることは なにひとつありませんでした。



あるひの ゆうがたです。

ブラウンは もりのなかで きのでだに あしを ひっかけ ころんでしまいました。

けがをしたブラウンは どうにもこうにも じぶんの ちからでは うごけません。

ブラウンは こまってしまったのですが

「たすけてー。」と いえません。

そのときです。「ゴロゴロ。ピカッ!」

とつぜん ゆうだちがきました。



あめにぬれて うごけない ブラウンは かなしくなってきました。
でも「たすけてー。」が いえないのです。どうしても いえないのです。
ブラウンは なくしかありませんでした。

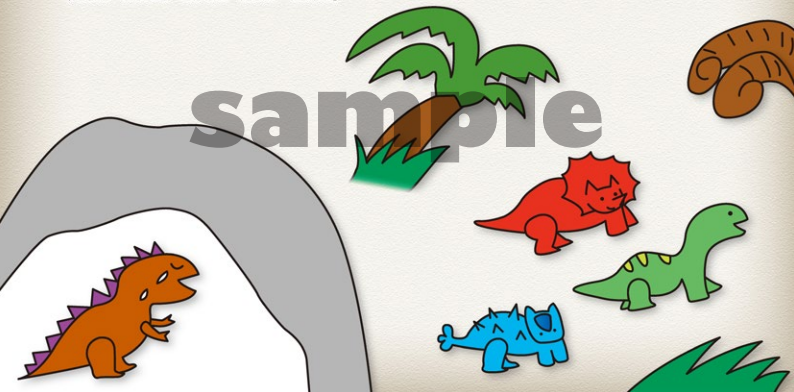
しばらく 不在していると とおくから ちいさな くびながりゅうの きょうりゅうが はしってきました。
けがをしている ブラウンをみて こえをかけてくれたのです。
ちかくにいた ほかの ちいさな きょうりゅうたちも てきに おそろれないように いっしょに たすけてくれました。
みんなが あんぜんな どうくつに はこんでくれました。

sample



ブラウンは ちいさな きょうりゅうたちが さったあと なぜだか なみだが とまりません。
「ほく いちばん つよい きょうりゅうなのに…」
どうくつのなかで ひとばんじゅう なきました。

ほくも みんなと くらしたい。そう おもうようになりました。
「そうだ なかまを さがしに たびに だよ。」



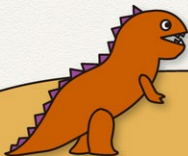
ここを はなれると きめたとき ブラウンは おかあさんのことを おもいだしました。
ブラウンがうまれる すこしまえのことです。
ブラウンのおかあさんが たまごにむかって はなしかけました。
「ブラウン。おかあさんよ。あなたは いちばん つよい きょうりゅうなのよ。
だから じぶんの ちからで いきぬくのよ。だれのちからも ひつようないわ。
じぶんの ちからを しんじるのよ。それが いちばん つよい きょうりゅうなのよ。」
そうとうと おかあさんきょうりゅうは たまごから さっていったのでした。



うまれそだった ばしょを はなれるのは さみしいけれど
ブラウンは なかまをさがすため たびにでました。

しばらく あるいて もりをぬけると がけのちかくで くさを たべている きょうりゅうがいました。
ブラウンが ちかづこうとしたとき
「あっ。あぶない！」
ブラウンはびっくりして たちどまりました。

「このあたりは くすれやすいから きをつけて。」 そうしょくきょうりゅうが いいました。

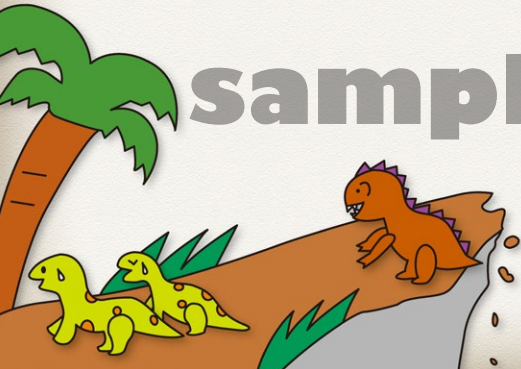


でも ブラウンが にくしょくきょうりゅうだと わかると にげていってしまいました。

「みんな やさしいのに どうして なかまに いれてくれないんだろう。」
とっても さみしくなりました。



sample



しばらく あるくと みずうみが みえてきました。

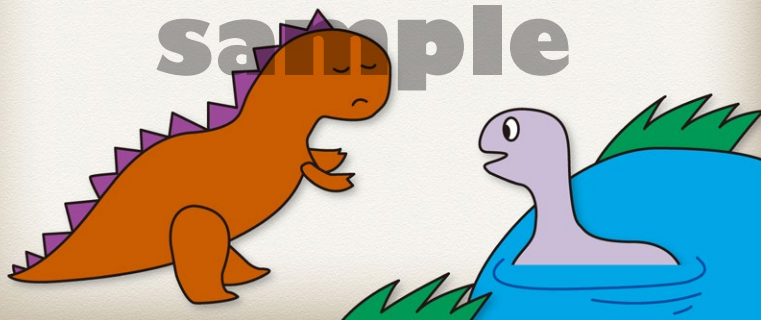
「あっ! おみず。」

おなかが ベコベコだったので あわてて おみずを のみました。

みずうみに うつた じぶんのかおを みていると なかから エラスモサウルスが かおをだしました。

「どうしたんだね。そんな かなしい かおをして。」

「ほく なかまが ほしいんだ。ほくは つよいんだけど なんだか さみしいんだ。だから なかまが ほしいんだ。」



エラスモサウルスはいいました。

「なかまに いれてあげたいんだが みずうみに もくれるのかい？

もくれないのなら おれたちの かぞくとは くらせないんだよ。」

ブラウンは ゆうきを ふりしぼって かおを みずうみに いれてみました。

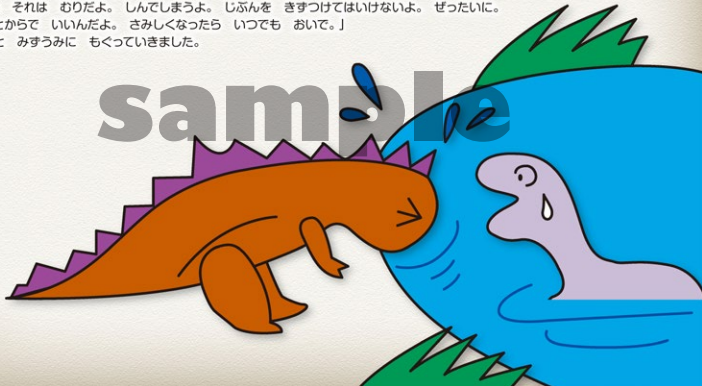
「あ～。くるしい。むりだよ。」

エラスモサウルスがいいました。

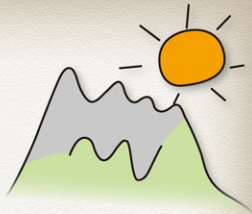
「おいおい それは むりだよ。しんでしまうよ。じぶんを きずつけてはいけないよ。ぜったいに。

できることからで いいんだよ。さみしくなったら いつでも おいで。」

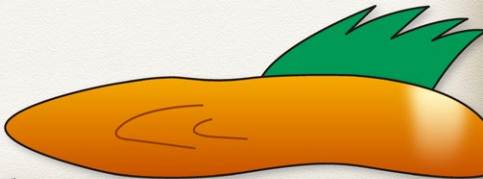
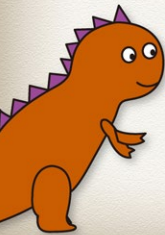
そういと みずうみに もぐっていきました。



ブラウンは たびを つづけようとしてました。
でも おなかが すきすぎて あるけなくなり そのばに たおれこんでしまいました。
ゆうがたになり みずうみが ゆうやけいろに そまりました。
「わ～。きれい!」と ブラウンがいました。



sample





すると「ほく このじかんが いちばんすきなんだ。」と
おさんぽをしていた くびながりゅうが ブラウンのかおをみました。
「あつ。きみは あのときの…ここで なにしてるの？」と くびながりゅうが ききました。
ブラウンは ホットしたのか なみだが こぼれてきました。
「たすけて ほしいんだ。おなかが すきすぎて うごけないんだ。」

sample

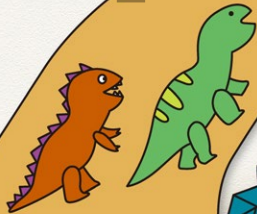


「でも ここは くさと きのみしか ないんだよ。これで まんぞく できるのかい？」
くびながりゅうは はっぱと きのみを ブラウンにあげました。
ブラウンは もらった ものを かみくだき のみこみました。
「うん。ほく これなら たべられる。」
おなかいっぱい たべると ブラウンは げんきになりました。

sample



「ぼくの かぞくを しょうかいするよ。ぼくに ついてきて。」
ブラウンは くびながりゅうの あとを ついていきました。



「おかえりー。」

とおくて かそくが よんでいます。

「あら おともだち？」

「そう。みすうみであつたの。」

おかあさんは すこし こまった かおをしています。

ブラウンがいいました。「ぼく おにくじゃなくて くさだつて たべられるよ。

ぼく みんなと くらしたいんだ。なかまが ほしいんだ。」

sample

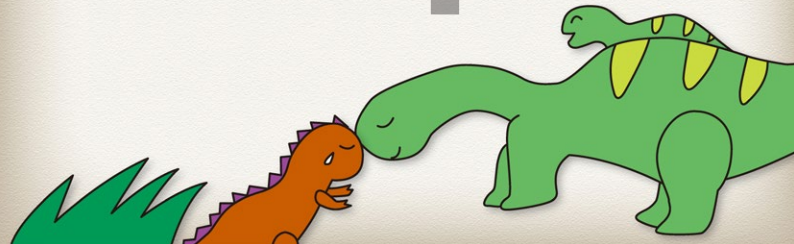


「そう。つらかったのね。」

おかあさんきょうりゅうが ブラウンのほほに かおをくっつけました。

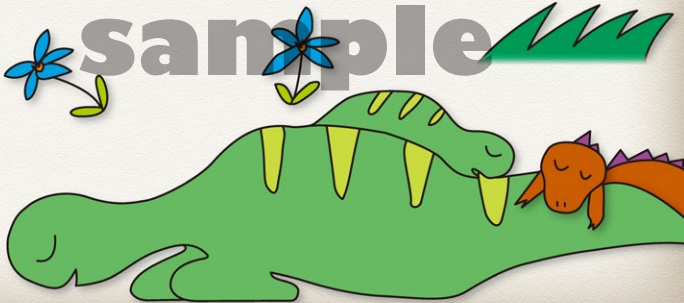
ブラウンは ないています。

sample



そのよる ブラウンは うまれて はじめて むれのなかで からだを よせあって ねむりました。
あしもとには あおい おはなが さいていて いいにおいがします。
「なんて いいきもち。」
いま ブラウンは ちっとも さみしく ありません。
それから ブラウンは なかまができて まえより すっとすっと つよくなったきがしました。

おしまい



いしだえほん No.0025

いっぴきのきょうりゅう

2018年1月12日 初版発行

文・イラスト 小池三千世

印刷・製本・発行 石田製本株式会社
〒063-0836 北海道札幌市西区発寒16条14丁目3-31
TEL 011-676-4520
<http://i-bb.co.jp/>

©2018 Michiyo Koike / Ishida Bookbinding

※本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。

また、本書を代行業者などの第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

落丁・乱丁はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

ISBN978-4-909377-24-1

sample

石田製本の直販サイト「いしだえほん」にて、
シリアスな物からシュールな物まで、楽しい絵本が続々発売中です！
<http://p-books.jp/ehon/>

ISBN978-4-909377-24-1
C8771 ¥1200E

定価：本体1,200円+税



9784909377241



1928771012000

